

令和5年度 第2回 追分小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年6月26日（月） 13時15分から15時40分まで
- 2 開催場所 浜松市立追分小学校 会議室
- 3 出席委員 松田 勝、松本 依子、小山 正博、大澤 一夫、内山 丈夫、村上 美代子、伊藤 隆之、今泉 るり子
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 坪井 百合子（校長）、平野 直孝（教頭）、佐野 尚也（CS担当）
山田 公子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
（1）議長の選出について
（2）授業参観の感想について
（3）学校の抱える課題と改善策について
- 9 会議録作成者 CSディレクター 山田 公子
- 10 会議記録

司会の平野教頭から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に確認を行い、前回決定事項である松本副会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）授業参観の感想について

議長の指示により、会議に先立って行われた授業参観の感想について、委員からは以下の発言があった。

- ・子どもに寄り添って授業を展開してくれる先生が多く、安心して任せることができる。他方、授業に集中できず一斉活動が難しいと見受けられる児童がいた。もちろん注意されていたが、それだけでなく、集中できるように変えていく必要がある。（内山委員）
- ・授業の時間に遅れた児童に、先生からきちんと指示ができていたため、自ら反省し、次の行動に結びつけられていたことが素晴らしい。昨年度よりも落ち着きが感じられ、雰囲気はよくなっている。（村上委員）
- ・集中できない児童が複数おり、担任1人で対応するのは容易ではなく、全体をまとめる大変さを目の当たりにした。（小山委員）
- ・1人1台のタブレットなど、新しいものに対して、低学年で扱いが苦手な子もいた。その際、先生が1人でたくさんの児童の手助けをすることは大変であり、助けてくれる方が他にもいれ

ば充実した活動につながると感じた。(今泉委員)
協議の結果、現在の実情や課題の認識を共有した。

(3) 議長の指示により、校長から学校の抱える課題についての説明があった。支援が必要な児童が増えている中、①学びたくなる授業づくり ②チームでの対応 ③きめ細やかな支援計画 ④保護者や専門機関との連携 など対応をしている。教育活動をより充実させ、全児童の主体性の育成や自己肯定感の向上を目指す上で、①の授業づくりや、②のチームでの対応などに保護者や地域の方々の御支援をいただきたい。

具体的に、①の授業づくりにおいては、学校に来てくださった保護者や地域の方々が、一斉では気付かない視点で児童に声を掛けていただく事や、今泉委員の意見の「児童が困ったときにすぐに聞ける人がいる」→ボランティアなどが挙げられる。

説明を受け、委員からは以下の発言があった。

- ・授業を受ける態度として、メリハリが必要である。参観会などで現状を把握してもらい、学校だけでなく、家庭での働きかけも必要である。規律を守る姿勢が大切だ。また、地域と関わることで、様々な年代とコミュニケーションがとれ、全体として関わるができる。(小山委員)
- ・時代の変化に対応していくため、学校運営協議会の委員にも若い人を増やし、違う視点の意見をもらうことも必要ではないか。この会議だけでなくもっと大きな枠組みの中で、現状を打破する策を考えてほしい。(大澤委員)
- ・懇談会など、若い人の意見を聞く場は有用である。先生だけでは負担が多いときも、地域の方や保護者の参加や見回りによって、支援の手が行き届くことが教育活動の充実につながると思う。さらに、授業外でも休み時間などに、イベントや他学年との交流をもつなど工夫することで、学校生活に楽しみが増えると感じる。見回りに関しては、専門性がなくても、子供たちに目を掛けてあげる人材がいることが助けになるのではないかと。(松本議長)
- ・この会議のように、現状を共有し、本音で話し合える機会をもつことで、みんなで協力してこうと考えるきっかけになり、よい方向に向かっていくと考える。(内山委員)
- ・元教員に、子供たちの反応がよかった授業構成の案やアドバイスをもらうことも、学びたくなる授業づくりの充実や工夫につながるのではないかと。子供たちに興味をもたせ、模索し、授業が充実することで協調性が保たれる。また、ボランティア登録して下さっている方は、どのような分野が得意なのかが分かりやすく提示されれば、先生方も授業の構想がしやすくなる。(松田会長)
- ・学校運営協議会で、このように話し合われていることを知らない方も多い。家庭での教育が根本であり、意識の向上が重要だ。保護者が学校の現状に興味をもち、できる人ができることを行い、応援していくことが大切である。(伊藤委員)
- ・人生の先輩である身近な大人が、子どもたちに一般常識としてアドバイスくださることそのものが支援である。ぜひ、様々な方に御支援、御協力をお願いしたい。(校長)
- ・既に1人、週に1度校内で見回りをしてくださっている地域の方がいらっしゃる。児童に声掛けをするなど、そういった活動をしてくださる方がいることで、学校も安心材料が増える。ぜひ

ひお力をお貸しいただきたい。(教頭)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。また、現在の実情や課題を共有した。

学校支援コーディネーターによる活動報告

議長の指示により、今泉委員から、別紙資料に基づき今年度の進捗状況について説明があった。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、2023年10月30日(月)午後1時15分から追分小学校会議室で開催する旨の報告があった。